

41 回生トライやる・ウィーク 逃げ地図作り

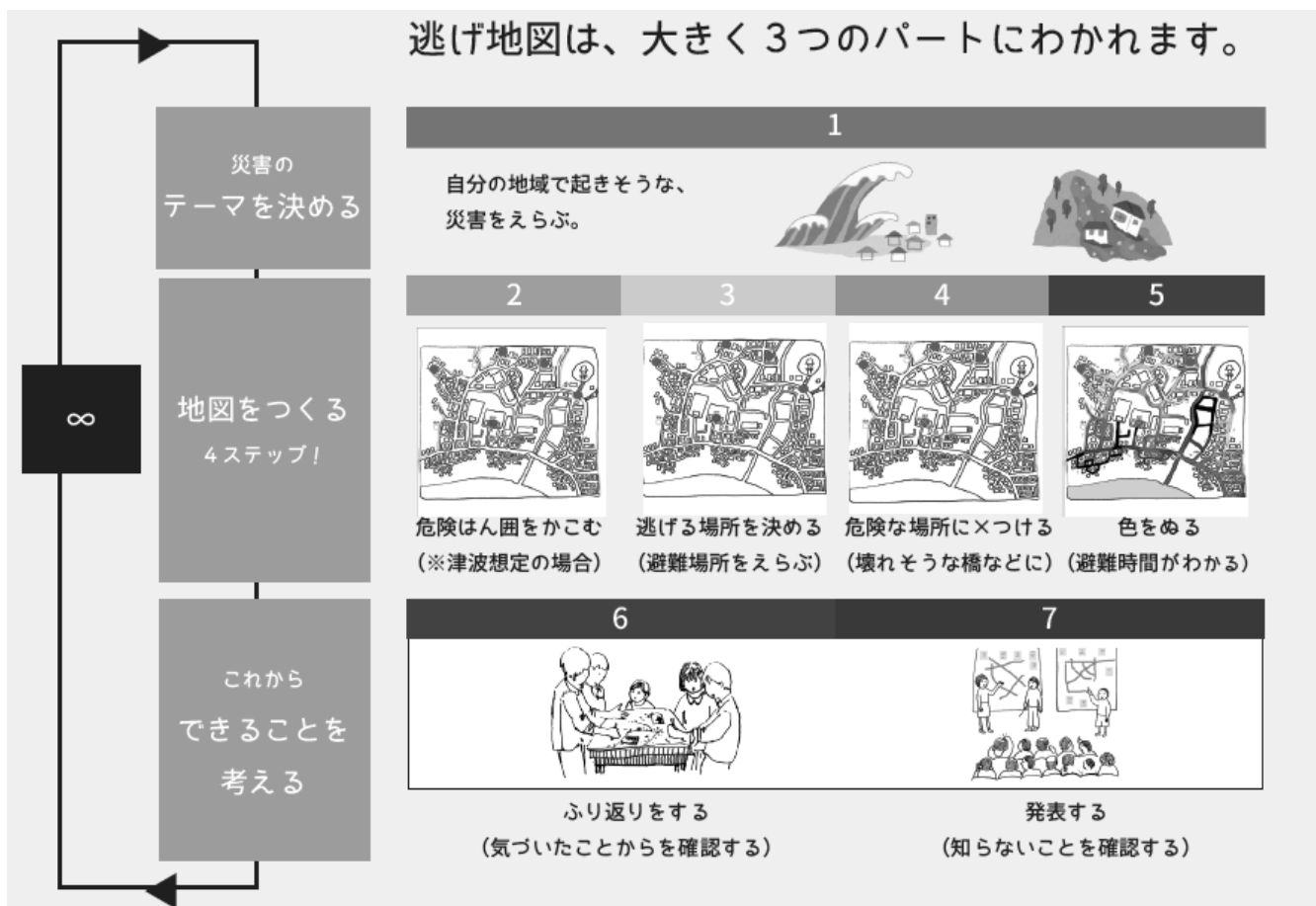
1、ねらい

地域の一人として防災について考え、実際に現場を見て回ることを通して、社会に参画する態度や自ら考え主体的に行動する力を育む。

2、日 程

令和2年11月12日（木）・13日（金）

3、全体の流れ



4、学習計画

	日時	内容
1 時間目 (事前)		<ul style="list-style-type: none"> ・学習の意義や内容の説明 ・逃げ地図の作り方説明 ①考えるテーマを決定 … 今回は「土砂災害」 過去の災害の映像や資料を見て、何が生死を分けたのか考える。
2 時間目 (事前)		<ul style="list-style-type: none"> ・班決定 ・逃げ地図作り練習
3 時間目 (事前)		②危険な範囲を囲む 防災マップなどを見て、マジックで危険な範囲を囲む。 ③避難場所を決める 避難場所にシールを張る。
4 時間目 (事前)		<ul style="list-style-type: none"> ・地域に出て危険な場所を探すポイントの確認 ・校外に出るための事前指導
5 時間目 (当日)	11月12日(木)	④危険な場所にするし 実際に地域を歩いて、危険そうな場所をチェックする。 地図に危険そうな場所や通れなくなりそうな道のしるしをつける。 ⑤道に色をぬる 道に色をぬり、避難場所までの時間がわかるようにする。
6 時間目 (当日)	11月13日(金)	④危険な場所にするし 実際に地域を歩いて、危険そうな場所をチェックする。 地図に危険そうな場所や通れなくなりそうな道のしるしをつける。 ⑤道に色をぬる 道に色をぬり、避難場所までの時間がわかるようにする。
7 時間目 (事後)		⑥ふり返りをする できた地図を見ながら、活動のふり返りをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・発表準備
8 時間目 (事後)		⑦発表して話し合う <ul style="list-style-type: none"> ・活動のまとめ

5、班編成

各クラス 6～7 班編成 (5、6 人×7 班) 計 21 班

6、準備物

- ・防災マップ (各班 1 枚) ・校区内の白地図 A1 サイズ (各班 1 枚)
- ・校区内の白地図手持ちサイズ (1 人 1 枚) ・色ぬり練習シート (1 人 1 枚)
- ・付箋・マジック (各班 1 セット) ・青シール・色鉛筆 12 色 (各班 3 セット)
- ・革ヒモ

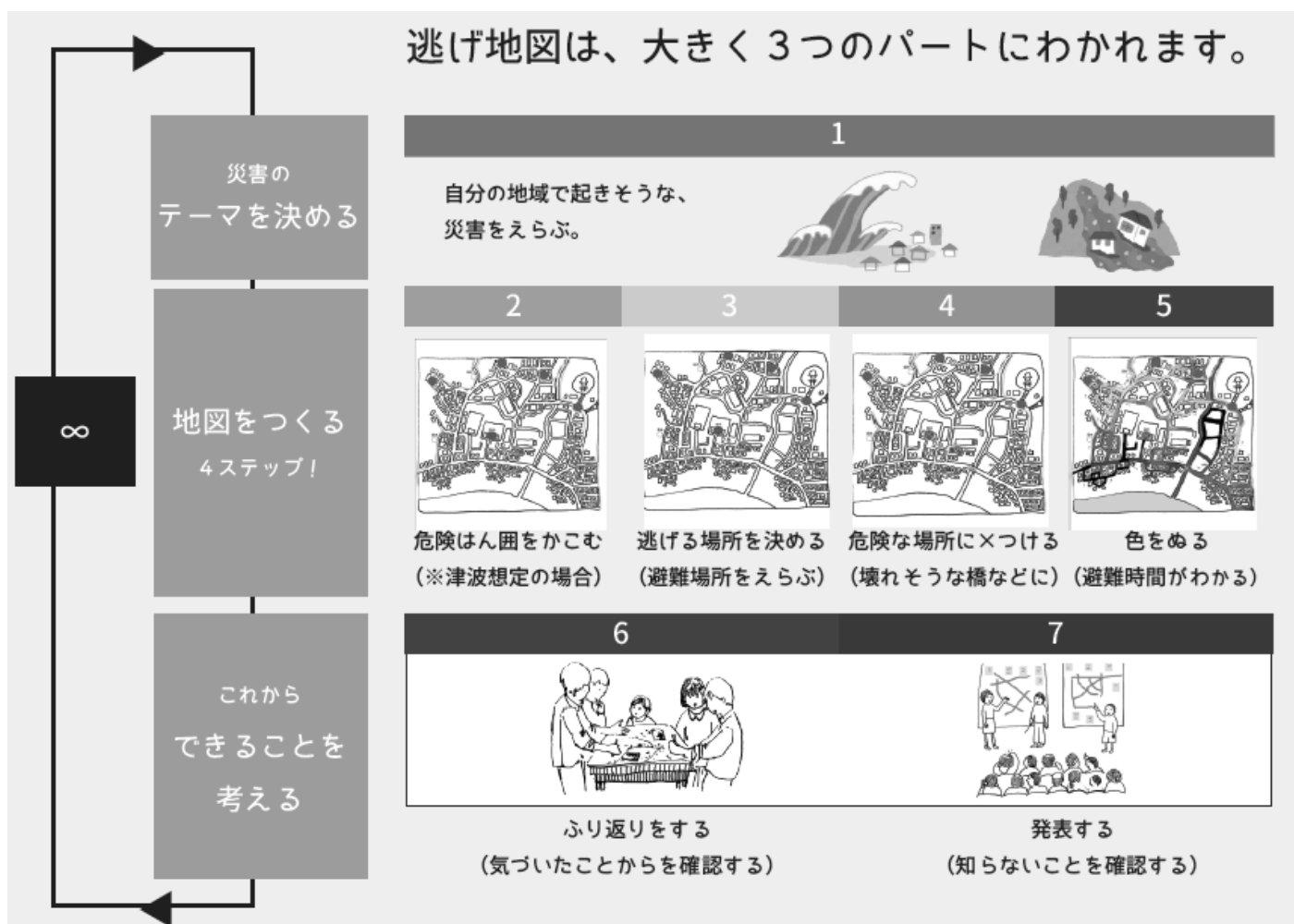
逃げ地図作り①

○ねらい 地域の一員として防災について考え、実際に現場を見て回ることを通して、社会に参画する態度や自ら考え主体的に行動する力を育む。

○日 時 令和2年11月12日(木)・13日(金)

○逃げ地図とは・・・

目標避難地点までの時間を色鉛筆で塗り分ける手づくりの地図です。道路が色ぬりされることで、直感的に危険な場所と逃げる方向を理解することができます。ですから、逃げ地図を見ながら、または作りながらより安全な避難を考えたり、課題を考えたりすることもできます。



○今回のテーマ 「土砂災害」

【そもそも土砂災害って何？】

○土砂災害の種類



種類	土石流	がけ崩れ	地すべり
場所	山から流れてくる、傾きが急な斜面	がけ、急な斜面	ゆるい傾きの土地
現象	山や川底の石や土砂が、雨などによって一気に押し流される	雨や地震によって急激に斜面が崩れ落ちる	土地の一部あるいは全部が地下水などによってゆっくりと下方向にすべる
特徴	時速 20~40km という速度であっという間に家や畑などを壊すため、命にかかわる	突然起きるため、家の近くで起きると逃げ遅れる人も多く、命にかかわる	動く土の量が多いため、広い範囲（道路や電気）に影響がおよぶ

○どんなところで起こるの？

日本の国土は全体のおよそ 70%の地域が山地・丘陵地であり、土砂災害が発生しやすい地形がたくさんあります。

○土砂災害ってどんなときに起こるの？

土砂災害が発生する原因は、地震や雨、火山の噴火、融雪など様々です。

○深層崩壊ってなに？

記録的な大雨がふったときなどに、山の斜面が、山の表面（表土）だけでなく、さらに下の深い部分（岩盤）まで一緒にくずれ落ちることを「深層崩壊」といいます。

深層崩壊は、数十年~百年に一度程度の頻度で発生しますが、ひとたび発生すると広い範囲にわたって甚大な被害をおよぼすおそれがあります。

逃げ地図作り②

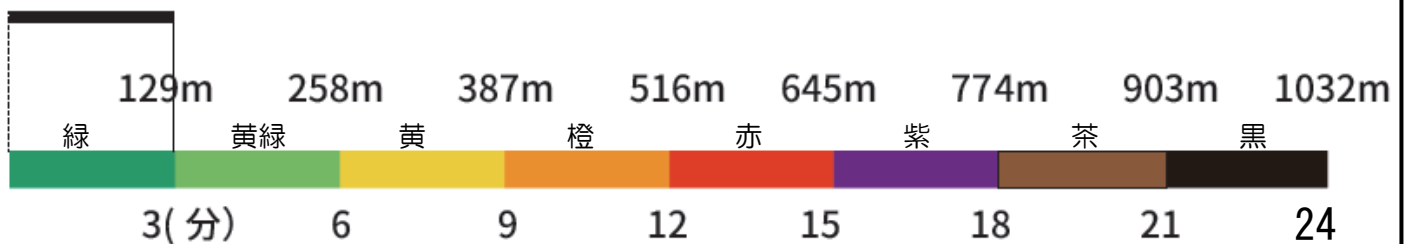
○逃げ地図作りの流れ

- ①考えるテーマを選ぶ → 今回は「土砂災害」
- ②危険な範囲をかこむ（ハザードマップ等を参考にする） → 今回の練習では黄色の線の右側
- ③避難場所を決める → 今回の練習では青の①と②
- ④危険な場所にするしを入れる → 今回の練習ではありません

⑤道に色を塗る

準備物：革ひも・色鉛筆

色塗りの練習



縮尺が1/2000なので、129mということは・・・

革ひもの長さは（ ）cm

○129mごとに色を塗り分ける理由は？

後期高齢者が傾斜路を3分間歩いた場合の平均距離 … 3分間で129m（43m/分）

- (1) ①から「革ひも」を道の長さに合わせます。
 - (2) その「革ひも」の長さの分、道に「緑色の色鉛筆」で色をぬります。
 - (3) ①が終わったら、②も同じように色をぬります。
- 次の色「黄緑色の色鉛筆」で同じことをします。

注意

- 1、道が一つではなくて、いくつかにわかれる場合 → すべての道に色をぬる。
- 2、反対側から色をぬっている道がくる場合 → 同じ色をぬって合流する。

⑥振り返りをする

⑦発表して話し合う

感想